

校訓	盡 己	令和7年度学校通信 「松中だより」 第16号	発行日	令和7年10月17日
教育目標	未来を創造し、たくましく生きる生徒の育成 ～地域・家庭とのつながりによる レジリエントな学校を目指して～		発行者	伊丹市立松崎中学校 校長 今井 克己

## 【後期生徒会役員 認証式】

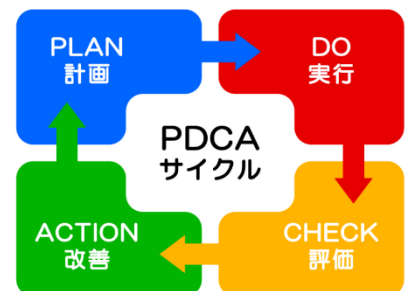
10月10日(金)6校時に後期生徒会本部役員、学級役員の認証式を行いました。それぞれに「こんなことをやってみたい」「こんなことに取り組みたい」という思いをもったみなさんが役員になってくれているようでした。認証状をわたしたあと、以下のような講話をしました。

「取り組み成功のの秘訣・・・よりよい取り組みにするための2つのポイント」

その1 「何のために」(目的)  
「誰のために」(対象) を 明確にすること  
「どうやって」(方法)

その2 PDCAサイクルをしっかりとまわすこと

P	Plan	計画
D	Do	実行
C	Check	評価
A	Action	改善



とくに、その1の「何のために」(目的)は毎年行われる行事だと、おざなりに  
なりがちです。しっかり確認しましょう。

その2では Check と Action まで進まないことがあります、より  
よい取り組みには欠かせません。

新役員のみなさんの活躍に期待します。

## 【体育大会 アンケート】

体育大会についての保護者アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。様々なご意見をいただきました。

- ・保護者席、敬老席について(保護者のマナー、優先スペース 等)
- ・種目について(全員リレー、部活対抗リレー、障害物リレー、学年演技 等)
- ・開催日程につて(平日開催、テストとの兼ね合い等)
- ・その他

さらにより行事となるよう、検討の材料にさせていただきます。ありがとうございました。

## 【次は 文化発表会】

体育大会の余韻も冷めないうちに、文化発表会の準備が始まっています。各クラスでは合唱練習がスタートし、6校時後の校内はいたるところで歌声が聞こえてきます。  
16日（木）は各学年の合唱コンクールリハーサルでした。



生徒会が決めた今年のスローガンは

「天歌一品」

～思いを形に感情を歌に～ です。

聞いている人の心に響く合唱を楽しみにしています。

保護者の方の鑑賞日は10月24日（金）です。

よろしくお願いいたします。

## 【SEL 感情（気持ち）の大きさ】

- ・気持ちにいろいろな種類があるだけでなく、  
大きさがあります。同じ「怒り」でも  
大声で怒鳴るほどの「怒り」もあれば、  
イラッとする程度の「怒り」もあります。
- ・人によって同じできごとを経験しても、  
気持ちの種類だけではなく大きさもちがいます。
- ・大きな怒りと小さな怒りでは、同じ怒りでも対処法が異なります。
- ・気持ちの大きさを意識することができると、気持ちの大きさに応じた適切な対処を  
考えることができます。また、自分はなんともないようなことでも、人によっては  
すごく腹が立ったり、すごく落ち込んだりすることもあるという理解にもつながります。



きもちメーター（5段階）

怒りの気持ちを表す4つの言葉「怒る」「腹が立つ」「イライラする」「ムカつく」

うれしい気持ちや幸せな気持ちを表す4つの言葉「やったー」「やばい」「うれしい」「幸せ」

それぞれの気持ちが一番大きいのはどの言葉かな？ 一番気持ちが大きいのが4、一番気持ちが小さいのが1として、気持ちの大きさ順にならべてみよう。

正解はないので、自分の考えでならべてみよう。

気持ちの大きさ	怒りの気持ちを表す言葉	うれしい気持ちや幸せな気持ちを表す言葉
4		
3		
2		
1		